

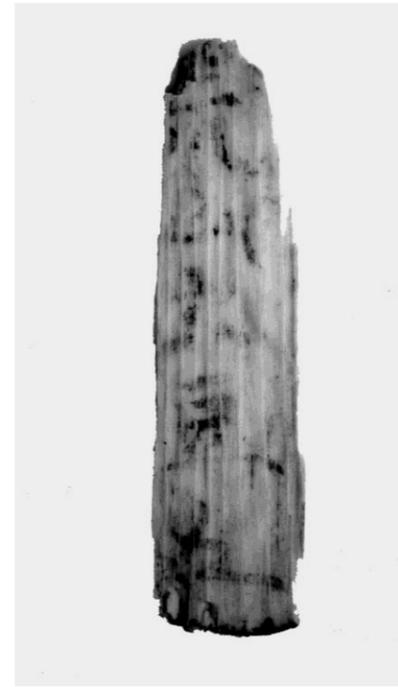
こんなものでたよ

最近の調査で出土した注目される遺物の紹介コーナーです。
今回は伊勢原市西富岡・向畑遺跡から出土した木簡です。

木簡

平成 22 年度の発掘調査で発見された古代の木簡（貴重な紙の代わりに文字を記した木片）です。遺跡の中央を南北に横断する埋没谷から土師器の破片や木製品とともに出土しました。長さ約 8.5 cm、幅約 2.0 cm、厚さ約 2.5 mm の針葉樹の板で、上下左右が欠けているため元の大きさはわかりません。

表には「風山大豆五」（風は判読困難で別字の可能性がありますが）の 5 文字が記されています。「大豆」は作物のダイズ、「五」は数量、最初の「風山」は人名か地名と推測されますから、「風山から大豆が五（斗）納められた」などの大豆の出納に関わる記録の一部と見られます。たった 5 文字ですが、近隣で大豆が生産されていたことを示す貴重な資料であり、神奈川県内では 6 遺跡目、伊勢原市内では初めての発見例となります。



木簡(西富岡・向畑遺跡埋没谷出土)



伊勢原市

子易・大坪遺跡（こやす・おおつぼいせき）

小田急線伊勢原駅の西北西約 3.7 km に所在します。大山に源をもつ鈴川南岸に広がる段丘上に立地しています。調査は県道 611 号（大山板戸）線建設事業に伴い平成 20 年度から断続的に行っており、近世から縄文時代の遺構と遺物が見つかっています。写真は平成 22 年度に検出した縄文時代後期の住居跡群です。住居跡の床面に平らな石を敷いて作った敷石住居跡が斜面の狭い範囲に 7 軒集中して見つかりました。写真中央の住居跡は、石で囲った炉と出入口（写真下方）につながる敷石があり、床面上には炉を中心として小礫が方形に配されていました。この小礫については祭祀に使った説、住居の間仕切に使った説などが出されています。

目次

- 発掘現場・出土品整理インフォメーション
相模原市緑区大保戸遺跡
寒川町：宮山中里遺跡・倉見川端遺跡
伊勢原市：三ノ宮・下木津根遺跡
横浜市中区：本牧荒井横穴墓群
- こんなもの出たよ 木簡
- 行事案内 公開セミナー「発掘された横浜外国人居留地」

行事案内

公開セミナー

「発掘された横浜外国人居留地」

内容：複数の商館・街路跡などの考古学的な発掘調査によって得られた情報から、居留地で営まれた商館の様相を探る。

特別講演「横浜外国人居留地について」
事例報告1「山下居留地遺跡の発掘調査成果」
事例報告2「山下居留地遺跡の出土遺物」
基調講演1「居留地建築と建築家ラランデ」
基調講演2「イリス社とドイツタイル」

日時：2012年1月21日(土) 10:00~16:30
場所：横浜市開港記念会館 講堂(横浜市中区本町1-6)
JR 京浜東北線・根岸線・横浜市営地下鉄 関内駅
下車 徒歩 10分、
みなとみらい線 日本大通り駅下車 徒歩1分

費用：無料

定員：481名

申し込み：事前申し込み不要

問い合わせ先：野庭出土品整理室(下記参照)



発掘帖バックナンバーはホームページ (<http://www.kaf.or.jp>) からダウンロードできます。

お申し込み
お問い合わせ

(公財) かながわ考古学財団 野庭出土品整理室
〒234-0056 横浜市中区野庭町 1660 E-mail: fukyu@kaf.or.jp
TEL: 045-842-9888 (平日 8:30~17:15) FAX: 045-842-9904



(公財) かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市中区中村町 3-191-1

考古学財団 ☎ 045-252-8689 FAX 045-261-8162 URL <http://www.kaf.or.jp>

発掘現場・出土品整理 インフォメーション

ぼくは川尻中村遺跡(相模原市)のはちまき土偶はつちです。発掘調査や出土品整理中の遺跡の紹介をします



大保戸遺跡 (おおほどいせき)

(所在地)	相模原市緑区	(時代)	近世、奈良・平安時代、縄文時代、旧石器時代	(調査期間)	2008年5月～2009年12月
-------	--------	------	-----------------------	--------	------------------

大保戸遺跡は相模原市緑区小倉に所在する遺跡で、一般国道468号(さがみ縦貫道路)建設に伴い発掘調査が実施されました。遺跡は串川によって形成された河岸段丘上に位置し、標高は現地表面で約165～171mを測ります。発掘調査では近世、奈良・平安時代、縄文時代、旧石器時代の遺構と遺物が確認されています。



石器出土状況(2008年)

旧石器時代の調査では、ローム層最上部のL1S層から細石器を主体とする石器集中地点が発見されました。石材は在地系のものと考えられる凝灰岩が主体となっています。石器は、細石刃・細石刃核や細石器の素材と考えられる大形の剥片類、石器製作時の道具と考えられる敲石(ハンマー)や台石、また、原石の一端に粗い刃部を設けた礫器等が発見されています。

宮山中里遺跡・倉見川端遺跡 (みややまなかざといせき・くらみかわばたいせき)

(所在地)	寒川町	(時代)	近世、中世、奈良・平安時代、古墳時代、弥生時代	(調査期間)	2011年4月～2011年12月
-------	-----	------	-------------------------	--------	------------------

宮山中里遺跡および倉見川端遺跡は神奈川県高座郡寒川町に所在します。一般国道468号(さがみ縦貫道路)建設事業に伴い発掘調査が行われてきました。

これまでの調査から近世から弥生時代にかけての遺構や遺物が発見されています。特に古墳時代の住居跡が多数発見されており、集落があったことがうかがえます。

今年度の調査で見つかった古墳時代前期の住居跡からは、ほぼ完全な形の青銅鏡が1点出土しました。直径は6.7cmを測り、保存状態も良好です。表面には丸い突起と蕨手状の文様が交互に配されているのが観察されます。詳細については今後の分析を待たなくてはなりません。古墳時代を考える上で重要な発見といえます。



青銅鏡(2011年出土)

三ノ宮・下木津根遺跡 (さんのみや・しもきつねいせき)

(所在地)	伊勢原市三ノ宮	(時代)	近世、古墳時代、縄文時代	(調査期間)	2010年11月～2011年2月
-------	---------	------	--------------	--------	------------------

遺跡は伊勢原市三ノ宮に所在し、平塚市との市境近くに位置します。調査は県道63号(相模原大磯)地方道路整備事業に伴って行われました。調査の結果、近世の旧大山街道と思われる道の跡と、古墳時代前期を中心とした竪穴住居跡と方形周溝墓が発見されました。

これらの遺構からは、たくさんの土器が出土しましたが、地元で作られた土器に混ざり、静岡から愛知、関西、北陸と西の地域で特徴的に作られる土器がたくさん見つかりました。その地方の土器の特徴を模倣して作られたもの、実際に実物が持ち込まれたものなどがあります。中でも関西で特徴的に作られるタタキ甕は、表面を叩き板で叩いて作った土器で、方形周溝墓内からはほぼ完形の状態で出土しております。県内でもあまり類例のない貴重な資料と言えます。



タタキ甕出土状況(2011年)

本牧荒井横穴墓群 (ほんもくあらいよこあなぼくぐん)

(所在地)	横浜市中区	(時代)	近世、中世、古墳時代	(調査期間)	2010年8月～2010年9月
-------	-------	------	------------	--------	-----------------

本牧荒井横穴墓群は横浜市中区南東の本牧岬の西の付け根にあり、JR根岸線山手駅より南東約900mに位置します。調査は神奈川県横浜川崎治水事務所の依頼による平成22年度本牧荒井C地区急傾斜地崩壊対策工事に先立つものです。

調査では古墳時代の横穴墓2基が発見されました。横穴墓2基は玄室の平面形がおおむね撥形で、奥壁がアーチ形を呈するものと捉えられ、7世紀代頃に造営されたと考えられます。そのうちの2号横穴墓では玄室に鑿や手斧によると推定される工具痕と肋骨状の意匠が確認されました。また床面には埋葬施設の一部であったと思われる礫が38点出土しました。



横穴墓検出状況(2010年)

公益財団法人かながわ考古学財団では年数回、**行事案内メール**を送付しています。

行事案内メールをご希望の方は、氏名・メールアドレスを記入の上、行事案内希望と明記したメールを fukyu@kaf.or.jp までお送り下さい。はがきによる案内をご希望の方は往復はがきを野庭出土品整理室宛て送付して下さい。なお、お寄せいただいた個人情報は行事案内以外の目的には使用いたしません。